

2022 1st Term Dental School		Jpn / Eng Japanese
口腔内科学 Periodontal/Oral Medicine		
Course No.	Classification	Term
076050		1st Term
Numbering code	Classroom	
NDGIOLAFZ4001N	臨床講義室	
Required / Elective		
Required		
Number of credits	Day & Period	
1	Thr.3,Thr.4	
Instructor(s)		
高柴 正悟 [TAKASHIBA Shogo], 山本 直史 [YAMAMOTO Tadashi], 大森 一弘 [OMORI Kazuhiro], 信田 有希 [SHINODA Yuki], 平井 公人 [HIRAI Kimito]		

Sustainable Development Goals (SDGs)



Target students

歯学部 5年次

Open to other faculties

See "Target students" above.

Contact information

電話番号 086-235-6675

Eメールアドレス stakashi@okayama-u.ac.jp

Office hours

月曜日8:00-9:00, 火曜日17:00-18:00, 木曜日8:00-9:00 (いずれも、歯学部棟7F 歯周病態学分野)

なお、変更がしばしばありますので、事前にe-mailで連絡があると助かります！ 本学の公用mail addressを使用して下さい。さもないと迷惑メールとして分類されて対応出来ないことがあります。)

Faculty, Program, or Graduate School specific items

歯学教育モデル・コア・カリキュラム 平成 28 年度改訂版)

A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力

A-2 医学知識と問題対応能力

A-2-1) 課題探究・解決能力

A-2-2) 学修の在り方

A-7 社会における医療の実践

A-7-1) 地域医療への貢献

A-8 科学的探究

A-8-1) 医学研究への志向の涵養(研究マインドの涵養)

A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

A-9-1) 生涯学習への準備

B 社会と歯学

B-1 健康の概念

C 生命科学

C-4 感染と免疫

C-4-1) 感染

C-4-2) 免疫

C-5 病因と病態

C-5-2) 細胞傷害、組織傷害及び萎縮

- C-5-3) 修復と再生
- C-5-4) 循環障害
- C-5-5) 炎症
- C-6 生体と薬物
 - C-6-4) 薬物の副作用と有害作用
- E 臨床歯学
 - E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

Language

Japanese or English depending on the students

Course description

口腔科学と全身の科学との関係を、主に感染症、慢性炎症、および免疫疾患の観点から概説する。「口腔内科」の発展的・学際的な考え方を理解させるとともに“个体医療”の概念を教示する。

Learning objectives

一般目標 (GIO) :

種々の疾患は個体毎に異なる病態を持つことを診断して治療・管理を行う。すなわち、“个体医療”の概念に基づいて治療を実践するために、口腔科学と全身の科学との関係を、主に感染症、慢性炎症、および免疫疾患の観点から捉え、「口腔内科」の発展的・学際的な考え方を理解する。

Learning outcomes

行動目標 (BOs) :

1. 辺縁性歯周疾患と根尖性歯周疾患の病態を感染学と免疫学の観点から説明できる (想起)
2. 疾患の原因を分子レベルで捉えようとする考え方をもち (態度・習慣)
3. 个体医療の概念と重要性を説明できる (想起)
4. 易感染性宿主とその歯科治療概念を説明できる (想起)
5. 口腔内疾患と全身疾患との関連性を説明できる (想起)
6. 論文等を適切に活用し、科学的な判断ができる (解釈)
7. 口腔内感染症を全身の健康と結びつけて考える姿勢を身に付ける (態度・習慣)
7. 先進的な診断・治療法や新しい研究成果の知識習得に積極性を示す (態度・習慣)

Course schedule

注意 :

1. COVID-19対策のため、非常勤講師による講義を含めて、オンラインでのライブ講義です。なお、オンデマンド受講も可能)
2. 教養科目としても公開していますので、他学部の学生が受講する場合があります。今年度は、歯学部講義が先行するため、5/12 (5回目) から一緒になります。
3. 特別講義のために予定が変更する可能性が高いので、事前にmoodleでも確認すること。

1回目 4月7日 (3-4限 :11:00~12:00, 12:50~13:50)

口腔内科学の概説

歯周内科学の概説

口腔科学から隣接科学への貢献と影響 / 高柴教授

★ 小テスト (moodle)

2回目 4月14日 (3-4限 :11:00~12:00, 12:50~13:50)

全身疾患の口腔への影響・口腔疾患の全身への影響

これからの歯科医療が目指すべき方向性 / 山本准教授

★ 小テスト (moodle)

3回目 4月21日 (3-4限 :11:00~12:00, 12:50~13:50)

全身疾患の口腔への影響・口腔疾患の全身への影響

病院内の歯科・易感染宿主や有病者との関わり / 伊東助教

★ 小テスト (moodle)

4回目 4月28日 (4限 :12:50~13:50)

全身疾患の口腔への影響・口腔疾患の全身への影響

糖尿病外来 / 大森講師

★ 小テスト (moodle)

5回目 5月12日 (4限 :12:50~13:50)

全身疾患の口腔への影響・口腔疾患の全身への影響

院内連携と地域連携での口腔科 / 平井助教

★ 小テスト (moodle)

6回目 5月19日 (1-4限 :08:40~12:00, 12:50~13:50)

特別Online講義 非常勤講師, 高柴教授

栗原英見 名誉教授 (広島大)

吉村篤利 教授 (長崎大)

佐藤 聡 教授 (日歯大新潟)

(講義テーマは, 後日に掲載します。)

★ 小テスト (moodle)

7回目 5月26日 (4限 :12:50~13:50)

全身疾患の口腔への影響・口腔疾患の全身への影響

妊婦外来 / 大森講師

★ 小テスト (moodle)

8回目 6月2日

口腔内科学 最終試験 (予備)

「口腔内科学」をまとめる / 高柴教授

★毎回のレポートを期限内に提出している学生は, この最終試験を免除します。

この試験を受験する必要がある学生は, 自発的に1週間前までに高柴までe-mailで連絡すること。

Learning activities outside of classroom

過去の講義資料の一部を事前に見ておくこと。以下のリンクから「口腔内科学」へアクセス。パスワードは, ps6675。

<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~perio/bind21/lectures.html>

岡大moodleも使用。

<https://moodle.el.okayama-u.ac.jp>

Teaching format

Teaching format-a ratio of [Lecture] to [Not lecture] in this class

80% : 20%

Active learning-Collaborative activities

pair/group work, discussions, and presentations

Occasionally

Active learning-Teacher-student interaction

Occasionally

Active learning-Thinking activities (critical thinking, making a research question)

Often

Active learning-Reflections(exercises, quizzes, reports)

Very often

Teaching format-Practical training

Not applicable

Teaching format-Message to the students

★ 新型コロナウイルス対策後の日程変更によって講義回数が減少したので, 毎回の講義後に小テストを課すことになりました。岡山大学moodleを使用して実施します。毎回のレポートと合わせて皆さんの理解度を判定します。(必ず事前に相談してください。試験形態を調整します。)

研究室のHPでの予習・復習を含みます。

特別な配慮を必要とする場合は, 事前にご相談ください。

Equipment

Used-Audiovisual media (PowerPoint, CD, DVD)

Very often

Used-Study management system (Moodle)

Very often

Used-Support (Guest speakers, TA, Volunteers)

Often

Used-Message to the students

プリント (PDF), スライド, ビデオ, Internet等を使用します。もちろん, ICTも。板書もあり。

履修者への連絡事項:

日英の言語を含むスライドを使用しますので, 配慮が必要な場合は履修登録する前に担当教員に相談して下さい。
板書もありますので, 配慮が必要な場合は履修登録する前に担当教員に相談して下さい。

Textbook(s)				
Text book1	ISBN	978-4-263-44435-1		
	Book title	糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン		
	Author	日本歯周病学会編		
	Publisher	医歯薬出版	Year of publication	2015
Text book2	ISBN	978-4-263-44469-6		
	Book title	歯周病と全身の健康		
	Author	日本歯周病学会編		
	Publisher	医歯薬出版	Year of publication	2016
Text book3	ISBN	9784862270160		
	Book title	人は口から老い口で逝く: 認知症も肺炎も口腔から		
	Author	落合邦康著		
	Publisher	日本プランニングセンター	Year of publication	2021

Note

Textbook #1 & #2 are available as PDF from the Website of Japanese Society of Periodontology without any charge.

販売店 泰山堂書店

Reference material				
Reference book1	ISBN	4023318752		
	Book title	続・日本人はこうして歯を失っていく: 専門医が教える全身の健康につながる歯周病予防		
	Author	日本歯周病学会, 日本臨床歯周病学会著		
	Publisher	朝日新聞出版	Year of publication	2020
Reference book2	ISBN	481601182X		
	Book title	歯周病と7つの病気: 8つのNEWS		
	Author	吉江弘正, 高柴正悟編著		
	Publisher	永末書店	Year of publication	2007
Reference book3	ISBN	9784930881854		
	Book title	歯科医師・歯科衛生士のための唾液検査ハンドブック		
	Author	佐藤慶太 [ほか] 編著		
	Publisher	ヒョーロン・パブリッシャーズ	Year of publication	2008
Reference book4	ISBN	9784830612886		
	Book title	内科医に必要な口腔疾患の知識		
	Author	藤田浄秀編集		
	Publisher	文光堂	Year of publication	2003

Note

過去の講義資料の一部を事前に見ておくこと。以下のリンクから「口腔内科学」へアクセス。パスワードは, ps6675。

<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~perio/bind21/lectures.html>

Grading

★ 新型コロナウイルス対策後の日程変更によって講義回数が減少したので, 毎回の講義後に小テストを課すことになりました。岡山大学moodleを使用して実施します。毎回のレポートと合わせて皆さんの理解度を判定します。(必ず事前に相談してください。試験形態を調整します。)

(旧:毎回講義内容とその感想をレポートにして提出してもらうことによって授業に対する姿勢とともに個人の知識や思考能力を評価する。また, 講義内容に関する筆記試験(単に知識を求めるものではないことに注意)を行う。試験80点, レポート20点。)

Prerequisites

歯科学生に必須

自己学習能力とモチベーション

あなた自身の新しい情報を入手する能力
異なる世代のあなたの意見を説明する論理的なステートメントの能力

Part of Teacher Training Program

該当なし

Relation to JABEE

該当なし

Sustainable Development Goals (SDGs)

(Good Health and Well-being)Good Health and Well-being
(Sustainable Cities and Communities)Sustainable Cities and Communities

Professional Faculty

該当する

歯周病と全身疾患の関連性についての研究を行っている。特に歯周炎と糖尿病の相互関係を分子生物学的に解明すること、ならびに歯周炎が易感染性宿主に与える影響について解析している。歯科におけるこの分野の重要性は近年急速に高まっており、研究内容は講義に取り入れている。

担当教員は、歯科医師であり、Periodontal Medicineの研究と臨床実践を行っています。

Other comments

実際の講義は、講座ならびに診療科の他のスタッフの協力を得て、それぞれのスタッフが得意とするトピックスについて講義することがある。

担当教員すべては歯科医師であり、口腔内科学の研究を行い、日常臨床に応用している。

Learner-centered outcomes (LCOs)

Learner Centered Outcomes (LCOs)	Related core competencies	Evaluation method
Ability to understand and apply various medical management systems to dentistry.	Information Literacy	ディスカッション、レポート、筆記試験
Ability to apply knowledge of clinical medicine to dentistry.	Lifelong Learning Skills	ディスカッション、レポート、筆記試験
Ability to adopt evidence-based practice in clinical decision making	Problem-solving Skills	ディスカッション、レポート、筆記試験
Ability to conduct and participate in global discussions of dental medicine.	Intercultural Skills	ディスカッション、レポート、筆記試験

* [Explanation of core competencies](#)